

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	社会学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. スタディスキル、社会学のコアとなる知識・能力、領域横断的な知識・能力を柱とする学位授与方針を明確化する	→学位授与方針の明確化と公表	B	A	A		
2. 継続的演習教育、体系的で幅広い講義科目などを柱とする教育課程の編成・実施方針を明確化する	→教育課程の編成・実施方針の明確化と公表	B	B	A		
3. 学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を内外に周知・公表する	→教務心得、履修心得、学部HP、大学案内、学部広報誌などの広報媒体において、正しくかつ効果的に広報されているかどうかの確認	B	B	B		
4. 学位授与方針、教育課程の編成・実施方針の適切性について、定期的検証(毎年)を行い、必要な改善を行う	→定期的検証(毎年)の結果と改善内容の公表	B	B	B		
☆						
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	学位授与方針について観点別に整理し明確化すべく検討を進め、カリキュラム検討委員会および学部長室委員会を経て、2011年2月16日の教授会において学位授与方針が承認された。以後、各種のメディアにて公表している。
目標2	教育課程の編成・実施方針についてはカリキュラム検討委員会および学部長室委員会を経て、2011年6月の教授会において承認された。以後、各種のメディアにて公表している。
☆ 目標3	学位授与方針および教育課程の編成実施方針は、教員用心得、学生用履修心得に明示したものの、学部HPの掲載がやや遅れ近々掲載の予定である。
目標4	教育目標に基づいた学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性については、毎年、カリキュラム検討委員会および学部長室委員会で検討している。加えて、2012年度は改組の可能性を含む抜本的な検討に着手するため、学部将来構想委員会が開催されている。
備考	